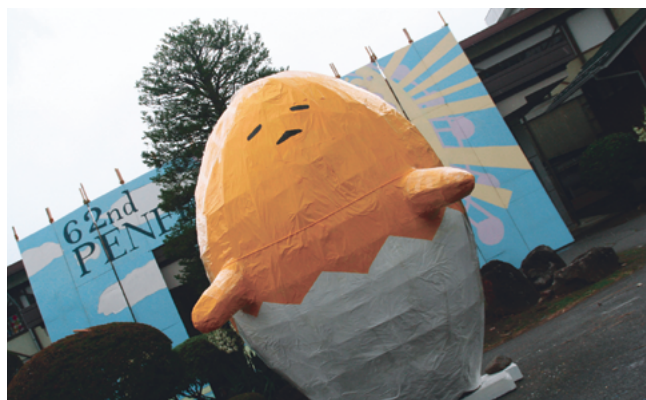


薫 風



No.138

平成28(2016)年9月



信頼をかたちに すること

学校長 今井 秀幸

高校生に人気のある作家森絵都の『永遠の出口』にこんな場面があります。

ぼんやり考えていると、円（まどか）さんがつぶやいた。

「いいわよね、学校の友達って」

「え。なんですか」

「だってアルバイトとはちがつて、毎日、いやでも顔を合せなきゃいけないじゃない。それも何年も、いつも同じ顔と」

「そのどろがいいんですか」

「そうね、どこがいいのかしらね」

円さんは破顔し、それから小さく言い添えた。

「でも、最近思ったりするの。結局、本物の信頼関係ってそういうふうにか結べないのかなって。毎日無理してでも『おはよう』って言い続けるしかないのかなって」

「毎日無理してでも『おはよう』って言い続ける」ことは、相手と自分との距離を自覚した上でなおその距離を縮めていこうと努力することだと思えます。その繰り返しの中でようやく「本物の信頼関係」が生まれてくと円さんは言っているのでしょう。家庭の中でもこのことは、大切なことではないでしょうか。子どもの自立を一方では認めること。しかし、子どものことは子どもに決めさせるという態度ではなく、きちんと関わっていくよという態度を表明すること。文字通り「〇〇、おはよう」と文字通り言い続ける、毎日お弁当を持たせる、送り迎えをする、何でもいいのですが、そこに「認めているよ」というメッセージが伝わればいいのだと思います。

高校生を取り巻く環境は大変厳しいです。ということは、高校生の親であることも厳しい時代なのです。しかし、子どもがいてこそその親。その一点でPTAのみなさんの絆が結ばれて欲しいと思います。



グローバルと グローバル

教頭 平澤 裕二

政治・経済・文化など様々な分野でグローバル化が進展する中、「グローバル人材」がキーワードになっています。政府のグローバル人材育成推進会議によると、グローバル人材の概念を、「要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力」「要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感」「要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ」の3つの要素に整理しています。これを受けて国や県のレベルで、実践的な英語教育、高校留学の促進等、様々な事業が展開されるようになっていきます。本校では高校留学する生徒は少数ですが、県などが実施する講座や短期海外研修等に参加する生徒が増えていきます。

一方、「グローバル」という語もよく耳にします。これは、グローバルとローカルを合わせた造語で、地球規模の視点を持つて身近な地域の課題を考えるとともに、ローカルからグローバルへの発信を目指すという考え方で、“Think globally, Act locally.”とも表現されます。抽象的な概念ですが、異文化理解を例にすると、自国や身近な地域の文化の理解なくして真の異文化理解は難しいということではないでしょうか。長野県では、今年「信州学」というテキストを作成し、全高校1年生に配布しました。本校でも、1年の総合学習ゼミの中に「上伊那学」と銘打ち、地元上伊那の地域性や課題を探究する講座を幾つも設定しています。

「グローバル」と「グローバル」を両輪として、様々な機会を活用しながら、バランスのとれた生徒の育成を実践していきたいと考えています。

平成28年度PTAスローガン

「「もっとPTAを楽しもう」積極的に 参加して伊那北高校をよく知ろう」



PTA会長
白鳥 政和

伊那北のPTA活動は、他校に比してとても活発です。それは子供たちの学習環境がより良く整うようにと会員の皆様の意識が高いところに起因しています。

一方、日々の仕事に加え、家事や子育てなど忙しく毎日を通して中でのPTAを負担に感じている人もいます。PTAは任意団体であり、会費を納めてその他はお任せにすることもできます。しかしそれでは勿体無い、子供たちの為が第一ですが、同時に会員である保護者の為の組織でもあります。

思春期を迎え大人に成長しようとしている子供との接し方は難しいものがあり、私もコミュニケーションをどう取ったら良いか悩んでいました。その様な中、PTAの講演会や他の保護者との会話からのヒント、そして今井校長先生から、高校時代はほとんど口を利くことがなかった娘さんと今はとても仲が良くなっていると聞ききしました。私は以前のように子供に積極的にコミットするのではなく、適度な距離を置いて自然に接するように気持ち

を変えることができました。

数多くあるPTAの事業は夫々意義目的があります。それを理解しポジティブに取組むことにより、ずっと楽しむことが可能となり、目的もより良い形で達成できます。

また、男性の保護者は学校に足が遠いのではないのでしょうか。PTAのイベント事業や公開授業などを一つのきっかけに伊那北に出かけませんか。きっと何か新しい発見があります。

これから合唱コンクール、競歩大会、クロスペンアカデミー講演会、後期クリンアップ作戦等を予定しています。積極的な参加でもっとPTAを楽しみましょう。



教頭	学校長	会長	副会長	副会長	副会長
平澤 裕二	今井 秀幸	上島 博樹	白鳥 政和	福澤 誠	宮脇ひとみ
					世良 郁江



平成28年度 PTA役員

本会	監事	平澤 浩	・北原 和明	・伊藤あや子
文化・教養	・橋爪 洋子	・伊藤由美子		
広	・吉岡 和久	・西納 晶子		
施設・厚生	・木ノ嶋 進	・平林あゆみ		
生活指導	・佐野 協児	・桑澤 睦		
1学年会長	城取由紀子			
副会長	唐澤まち子	・北澤 順子		
監事	下平 公子			
2学年会長	原 武光			
副会長	小原 幸子	・永沼 千夏		
監事	佐々木 美夏			
3学年会長	小松 恭二			
副会長	青木 まり	・中塚 知子		
監事	下島 弘子			

1年クラス紹介

担任

勝野 幸広先生(理科)

副担任 **宮下 浩子先生(国語)**

副担任 **原 正彦先生(体育)**

A組の平均の生活は、起床・午前6時、登校・午前8時、下校・午後6時30分、帰宅・午後7時30分、就寝・午後11時30分。学校行事にも学習にも部活にも真摯に取り組んでいる生徒達だと担任は思っています。「〇〇だから□□できない」ではなく、「〇〇でもできることはある」そんな、前向きな人に必ず成長していくことでしょう。



担任

大槻 智哉先生(社会)

副担任 **松澤 保隆先生(社会)**

副担任 **原 正彦先生(体育)**

勉強や部活など高校生らしい分野に力を注げる人が多く、適切な学校生活が過ごせているクラスです。また、周囲に気を使える人も多く、それが今のB組の良い雰囲気気の源だと思っています。これから今以上にクラス内の関係性を深めていき、居心地のいいクラスがどんどん出来上がっていくことを楽しみに思えるクラスです。



担任

有賀 政春先生(英語)

副担任 **兒玉 智紀先生(音楽)**

副担任 **原 正彦先生(体育)**

元気で明るい22名の男子としっかり者で優しい19名の女子合わせて41名のC組です。欠席が少なく、全員元気に登校しています。担任の誕生日をサプライズで祝ってくれるなど、担任に頼ることなく、自分たちで協力して物事を進めていく姿に頼もしさを感じています。これからの高校生活で41名の個性がどのようにC組としての色をつくりあげていくか、楽しみにしています。



クラス担任による

担任

川口 陽司先生(情報)

副担任 手塚 美穂子先生(家庭)

副担任 福澤 桂先生(英語)

D組がスタートして3ヶ月目に突入しました。それぞれの個性が徐々に表に出始め、また、それを皆が理解し、認め合う空気が出来ており、授業においても様々な反応を見せてくれています。さらに、クラス全員が何らかのクラブに所属し、活躍してくれています。

D組は、勉強もクラブも頑張れるクラスです。



担任

荒井 淳子先生(国語)

副担任 有賀 智秀先生(数学)

副担任 福澤 桂先生(英語)

この2ヵ月であっという間に明るく自由なクラスに仕上がりました。今ではみなさんの元気な表情が毎日見られ、大変嬉しいです。全員部活に所属しており、文武両道を目指します。日々はそれぞれの個性を尊重しつつ、行事等ではまとまってその力を発揮できるよう、力を尽くしていきたいと思えます。



担任

百瀬 裕也先生(数学)

副担任 齋藤桂似郎先生(理科)

副担任 小山由美子先生(理科)

1Fは男子と女子が同数という珍しい理数科です。春のクラスマッチの綱引きは見事優勝！F組はこれからも優勝を目指します！！勉強もクラブも両方頑張る、当たり前前のことが当たり前ができる。そんなクラスを目指して担任も生徒も毎日過ごしています。



クロスペンアカデミー開講式・講演会

演題「山と星とデザイン」

講師 寄藤 文平 氏



本年度クロスペンアカデミーの開講式及び講演会が本校OBで有限会社文平銀座を設立され、アートグラフィックデザイナーとして活躍されている寄藤文平氏をお招きして行われました。伊那北生全員と保護者・同窓会員の方も多数参加されました。



デザインという仕事には、自分を「表現」していく一面と様々な人と「仕事」していく一面があります。

それはいわば「星を見て歩くこと」と「山を見て歩くこと」が同時にあるということです。両者をどのようにバランスをとっていけばいいかの。それはデザイナーに限らず多くの人に共通するテーマであるかもしれません。

寄藤文平氏のプロフィール

1973年 長野県生まれ 伊那北高校卒業(高44回)。
1998年 ヨリフジデザイン事務所、2000年 有限会社文平銀座設立
広告やプロジェクトのアートディレクションとブックデザインを中心に活動。
(著書)「元素生活」「ウンココロ」「ミルク世紀」など多数。

生徒の感想

お話の中で、伝え方のJTの広告がすごくハッとした。前から、JTの広告は「タバコやめよう」みたいなのでなく、目に付く心に残る言葉が書いてあるなと思っていて、私はこういう言葉、絵を考えることができる人に憧れや尊敬の気持ちがあるので聞いていて勉強になったし興味深かった。電車の広告も面白いと思ったと同時に発想力の凄さに圧倒された。というか、とにかく好きだなと思った。

ここら辺にはないので、東京とかで見たい。自分は割とこれは良い悪いという考えかた、伝え方をしていると思ったので、そういう伝え方を身に付けられたら楽しくなるのではないかなと思った。とても心がひきつけられたので、講演会の伝え方もやっぱり凄さを感じた。(2年)

コミュニケーションギャップの話聞いて成程と感銘を受けた。確かに「マナーを守れ」といってもギャップは開いていって距離が遠くなる。それをどうしたら縮められるか、先生の話聞いて考えが結構変わった。特別なことをしようと思って生きてきたけど、そんなにがんばって人と違うことを…とがんばらなくていいんだなあ。生き方、考え方を教えてもらって本当に貴重な時間を過ごし大切な体験をさせてもらったと思います。寄藤先生がもっと好きになりました。先生の話聞くことができてよかったです。ありがとうございました。(3年)



保護者の感想

とても楽しい講演会でした。JT等でとてもなじみのある方で期待して講演会に来ましたが、期待以上でした。もっと硬い感じの方なのかな?と思っていたらとても親しみやすい人柄の方でした。自分で書いたものを見せながら分かりやすいお話を下さりとても勉強になりました。ギャップの話はなるほど!と感心しました。お互いの立場で感じ方も違いどちらかを悪者にしてしまうのではなく、ギャップをうめる方法は生活の中で生かして行きたいと思いました。



クロスペンアカデミー (Cross Pen Academy)

平成15(2003)年度、学校5日制に伴い、土曜日の有効活用の一つとして「薫ヶ丘クロスペンアカデミー」が設立され、同窓会・PTA・職員の共催により始まる。英数国等の補習に加え、多彩な講演会と講座を開催。

「第一志望校 現役合格に向けて」

最後まであきらめない
基本的学習が重要

講師: 石山 和則 先生
(駿台予備学校)

受験生を持つ保護者の心構え

最後までねばれるように
子どもをサポートする
親も最後まであきらめない



PTS (Parent Teacher Student)

昭和45(1970)年以來の伝統行事である保護者、先生、生徒三者による合同活動。ここ10年来は1学年が講演会の後、クラスでテーマを決めてPTSにより意見交換会、2・3学年は進路講演会が生徒とその保護者それぞれで行われている。

PTA総会開催

【平成28年度 PTA活動計画】



平成二十八年五月二十一日、薫ヶ岡会館において、多くの保護者の方々にご出席いただき本年度のPTA総会が開催されました。昨年度の活動報告、会計報告、及び今年度の活動計画、会計予算が承認・可決され、本格的に活動がスタートしました。今年度のスローガンは、「もっとPTAを楽しもう」積極的に参加して伊那北高校をよく知ろうです。スローガンにありますように、積極的にPTA活動に参加いただき、楽しみながら取り組みましょう。そして、先生方・保護者同士の信頼感関係を深めていき、子どもたちの学校環境の充実をサポートしていきましょう。

平成28年		
4月	5 (火)	入学式 1～2学年学年クラス理事選出 1学年PTA理事会
	16 (土)	クロスペンアカデミー講演会
	23 (土)	会計監査 PTA理事会 専門委員会 学年理事会
5月	2 (月)	生活指導委員会(地区PTA打ち合わせ等)
	21 (土)	PTA総会 学年PTA 学級PTA
	24 (火)	上伊那高等学校PTA連絡協議会16:30
6月	2 (木)	2日(木)～21日(火) 地区PTA (各地区の日程による)
	9 (木)	長野県高等学校PTA連合大会総会
	11 (土)	前期クリーンアップ作戦(1年)
	25 (土)	25日(土)～26日(日)ペン祭
7月	2 (土)	PTAカルチャー講座
	8 (金)	8日(金)～9日(土)北信越PTA連合会研究大会
8月	24 (水)	24日(水)～26日(金)全国PTA連合研究大会
9月	9 (金)	合唱コンクール
	10 (土)	諏訪・上伊那地区高等学校PTA指導者研究会
	21 (水)	薫嶺138号発行
	30 (金)	競歩大会
10月	8 (土)	クロスペンアカデミー講演会
	15 (土)	後期クリーンアップ作戦(2・3年)
中庭広場完成		
平成29年		
2月	3 (金)	第2回上伊那地区高等学校PTA連絡協議会16:30
	18 (土)	3学年会計監査 PTA理事会 学年理事会
	20 (月)	20日(月)～27日(月) 次期役員信任投票
	21 (火)	薫嶺139号発行
3月	3 (金)	卒業式
	10 (金)	新3学年理事会 専門委員長選出 専門部引継
	17 (金)	新旧正副会長引継会



PTA地区懇談会 13地区で開催

六月二日の「宮田」「高遠・長谷」地区を皮切りに十六日まで全十三地区でPTA地区懇談会が行われました。

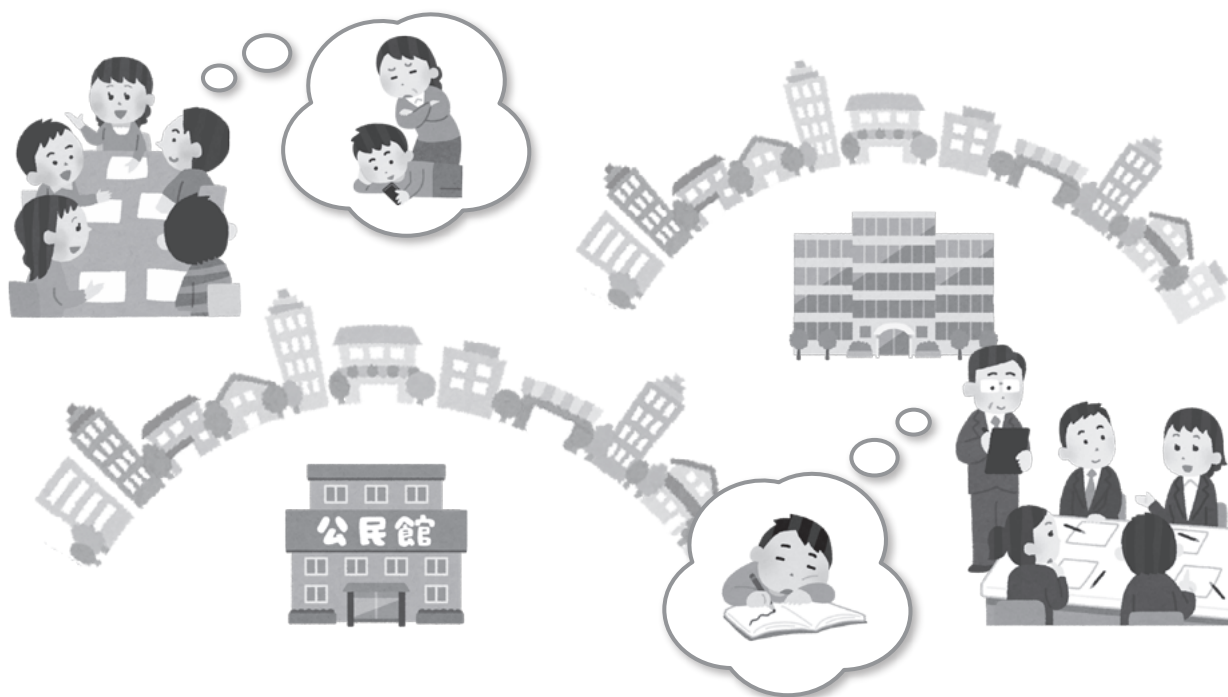
全体会では地区役員の進行でPTA役員と校長先生や教頭先生からのお話の後、地区役員と地区担当の先生方から生活指導と進路指導のお話をいただきました。学校生活に関しては、スマホ使用の注意事項等、進路指導では、高志館の利用について等の説明がありました。

その後の学年別に分かれての分散会では、学年担当の先生から学校での生徒の様子や学校全体の様子をお話しいただき、その中で各家庭での生活や学習への取り組みなどについて情報交換を行いました。

家庭から出た意見は次のようなものでした。生活指導関係では、自転車での通学時のイヤホン装着の危険性について、スマートフォンの使い方やスマホ依存症について意見が出ました。

進路・学習指導関係では、勉強の質と量、勉強の仕方についての質問が出ました。その他の意見として、メールサービス活用に関する要望もありました。

率直な意見交換ができ、大変有意義な会となりました。



平成28年度 PTA地区懇談会一覧

地 区	月 日	場 所
飯島・中川以南	6/13	飯島町成人大学センター
東伊那・中沢	6/13	中沢公民館
赤穂	6/16	アイパル伊南
宮田	6/ 2	JA宮田支所
西春近・東春近・富県	6/14	東春近ふれ愛館
荒井区・坂下・西町・御園・山寺	6/ 6	いなっせ
中央区・境・福島・上の原	6/ 7	伊那公民館

地 区	月 日	場 所
西箕輪	6/10	西箕輪公民館
美篤・手良・美原	6/ 3	美篤きらめき館
高遠・長谷	6/ 2	高遠町総合福祉センター山すそ
南箕輪	6/ 9	南箕輪村民センター
箕輪	6/ 7	松島コミュニティーセンター
辰野以北	6/ 7	辰野町民会館

春のPTAクリーンアップ作戦

6月11日(土)にPTA役員12名、1年生保護者138名と生徒13名、職員9名の計172名が参加し、ペン祭前に学校をきれいにしました。

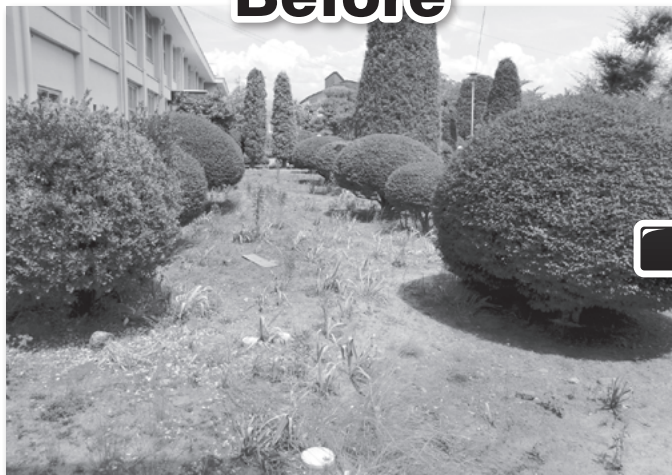
施設・厚生委員長
木ノ嶋進さん



委員長より作業の説明

Before

After



すっかりキレイになりました!



演題「あなたの悩みに 心理カウンセラーはこう答える!」

講師 心理学者・教育学博士 諸富 祥彦 先生



お悩み即解決! 面白く、でも的確に解決!



演題「あなたの悩みに
心理カウンセラーはこう答える!」から

生徒の悩みに答える!

- Q: 受験のモチベーションをあげたい
A: 目標を持って勉強するとよい
- Q: 本当に自分が何をしたいかわからない
A: 大学生になったらサークルに参加したり、
いろいろな講演会に行くとよい
(フットワークが肝心)
- Q: キズつけてしまった後輩と仲良くしたい
A: まず自分から謝る 謝る勇気を持つ
- Q: 友だちと話が續かない
A: 聞き役、聞き上手になる

《プロフィール》

諸富 祥彦 (もろとみ よしひこ)

1963年福岡県生まれ

筑波大学大学院博士課程修了

教育学博士

英国イーストアングリア大学、米国トランスパーソナル心理学研究所客員研究員、千葉大学教育学部助教授、明治大学文学部助教授を経て、現在、明治大学文学部教授

文部科学省中央研修講師、中央教育審議会専門部会委員、日本カウンセリング学会理事、日本産業カウンセリング学会理事、日本生徒指導学会理事、悩める教師を支える会代表、日本トランスパーソナル学会会長、心理臨床センター副センター長



生徒の声

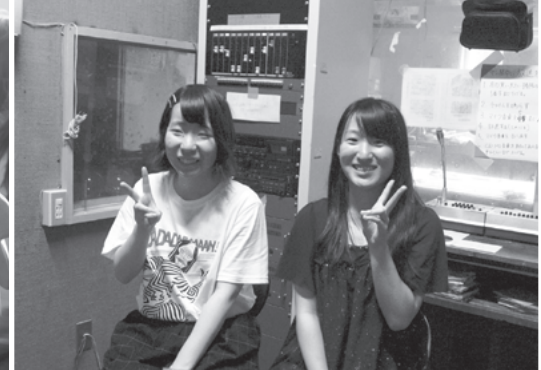
自分では深刻に思っていたが、先生が面白く答えてくれたので肩の荷がおりた。これからは、聞き上手で人生乗り切れそうです。

私は人生についていろいろ考え過ぎだと思いました。将来の職業について決まるのは大学へ入ってから決まると聞いて、安心しました。なので、大学へ入れるように勉強したいと思います。

私は、今まで彼氏ができたことがありません。でも、先生の講演を聞いて、まだ、これからあると、希望をもちました。これからも、頑張ります。

講演会を聞いて、これからの人生の不安が少しなくなりました。先生の経験を踏まえ、大学の進路のこととか、恋愛の事とかたくさんのことについて教えていただきとても良かったです。





62th PENFEST



活躍する伊那北生

全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)

フェンシング部

山口県岩国市



3C 村松 佐恵

今年は、インターハイベスト16を目標に掲げて、苦しい時も練習に取り組み続けました。なので試合会場では、今まで自分がやってきたことに自信を持って闘いたいです。

2D 宮下 翔太

自分は、今回初めてインターハイに出場するので、会場の空気にのまれないようにして練習の成果を出していきます。



ソフトテニス部

岡山県備前市



2E 有賀 駿平

インターハイは、自分達にとっては初めての経験なので決して受け身にならずに目の前の一本に集中したいです。結果はどうであれ最後には晴々しい気持ちで終われるよう、またこの経験を来年生かせるようにしたいです。

2E 木村 海夢

目標にしてきたインターハイという舞台で試合ができることを誇りに思っプレーをしてきたいと思ひます。試合に勝つことよりも、精一杯楽しめるように頑張っていきたいと思ひます。



3A 漆戸 大

昨年この大会に出場させていただいたので、今年は昨年の結果を上回れるように一戦一戦戦ってきたいと思ひます。また、最後の大会となるので今まで支えて下さった周りの方々に感謝の気持ち持っ楽しんで試合をしてきたいと思ひます。

3A 仁科 慶彦

今回の大会では勝つても負けても高校最後の大会になります。今までやってきたことを信じ、二人で一本を取るようなプレーを目指して、一戦一戦楽しみながら試合をしてきたいと思ひます。



全国高等学校総合文化祭

将棋部 第52回全国高校将棋選手権大会 男子団体

広島県福山市

3D 小池 祥平

今回の大会が高校生活最後の大会となります。貴重な機会ですので、多くのことを学び自分の糧とするともに、3年間で培ってきた実力を遺憾なく発揮し、勝利にこだわって、一意専心で競技に取り組みたいと思ひます。

3D 向山 大樹

全国大会出場は1年生の時から夢であり、それが叶ったということに深い喜びを感じています。入部してから先輩方の背中を追ひ続けてきましたが、まだまだ未熟で追いつけてさへいません。そんな未熟な自分が全国大会に出ているのかと悩んだこともありますが、選ばれたからには、学んできたことを生かして全力で戦ってきたいと思ひます。また全国の強豪から少しでも技術などを吸収し、今後に生かしてきたいと思ひます。

2F 矢島 雄河

今回全国大会に出場させていただけるのは、1年以上教えてくださった地域の方々のおかげだと思ひます、ですから、「これが長野の、上伊那の将棋だ」という戦い方で、後悔のないようにしてきたいと思ひます。

音楽部弦楽班

広島県呉市



長野県選抜オーケストラとして良い演奏になるように、気持ちを一つに頑張ります。

- 2A 佐藤 凱飛
- 2B 有賀 みゆ
- 弓田 希
- 2C 唐木明香里
- 中澤 菜月
- 2D 池上 瑠里
- 2E 三澤 春香
- 2F 山口 健斗

将棋部 第52回全国高校将棋選手権大会 女子団体・個人

広島県福山市

3B 浦野ひなた

今回、団体戦で全国大会に出場します。団体戦は一人だけ勝つてもチームの勝利にはなりません。だからこそ仲間の勝利に頼るのではなく、自分が勝つことでチームに貢献できるように、一手一手着実に指したいと思ひます。また、全員が3年生で、最後の全国大会、最後の試合になるので、後悔をしないような試合にしたいです。応援をお願いします。

3D 中村 輝夜

今回の全国大会は私にとって新人戦を含め二度目となります。前回と今回ではいくつかの違いがあります。一番大きな違いは個人が団体かということです。団体戦で全国大会に出場したことがないので恐怖心がありますが、実力が拮抗している女子の中で団体メンバーに入れたことが励みとなって私を支えてくれています。最後となる全国大会で、今まで支えてくださった方々に部活での成長を結果として見せることができるよう、最後の一手、一秒まで全力で指してきたいです。

3E 前田はるひ

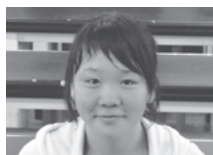
3年間一緒に頑張ってきた2人と団体を組んで全国大会に出場できることを本当に嬉しく思ひます。私にとって最後の高校の公式戦なので、思いきり楽しんで一局でも多く指せるように、力を合わせて頑張りたいです。

3D 田路 円香 【女子個人】

長野県の代表として恥ずかしくない将棋を精一杯指してきたいと思ひます。高校から始めた私が全国という素晴らしい舞台に行くことができたのは、全て周りにいる多くの人のおかげです。部員や先生には感謝してもしつづけません。本当に人に恵まれたなと思ひます。今回が最後の大会となりますが、大会までの残された時間を大切に過ごし、大会では自分のできる限りのことをし、諦めず、反則をせず、頑張っていきたいです。

囲碁部

広島県尾道市



3B 浦野ひなた

最後の全国大会になるので、後悔をしないようにしたいと思ひます。



全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会全国大会コベルコカップ2016

長野県上田市



3C 白鳥里菜子

私は、北信越選抜チームとして出場します。これまで、このチームで様々な大会に出場してきましたが、このメンバーで参加出来る大会はこれが最後です。三年間、一緒に笑ったり泣いたりしたこのチームで全国に挑みたいと思ひます。



3C 片桐由紀也 3F 森 恒大 3A 唐澤 穂高

私が全国大会に出場することで得たいものは、経験と自信です。全国レベルの選手達と戦うことで、いろいろな経験ができると考えています。また、自分の得意なプレーを成功させ、自身を更に深めたいです。

7月2日(土)

第14回 PTAカルチャー講座

文化教養委員会が中心となり、今年もPTAカルチャー講座が開催されました。
スポーツに芸術にそして趣味にと多くの講座が開催され、150名を超えるPTAの皆さんが参加されました。



講師の皆様

文化教養委員長挨拶



文化教養委員長 橋爪さん



ネイチャープリントでアクセサリー作り

ネイチャープリント
インストラクター

野澤伊代子先生

温めると柔らかくなり様々な色や形が表現できる、マーメルトというメタリック樹脂を使います。自然の葉の形を写したり、マーブル模様を作ったりと、思いのままのアクセサリーが作れます。

参加者の声

細かい作業が難しい!思ったより繊細な作業ですが、出来上がりを楽しみにしながら作っています。



Memo

PTAカルチャー講座

第1回は平成15(2003)年10月18日に文化教養委員会が企画して開催。翌年第2回からベン祭後最初の土曜日に実施。講座は、文化・教養・趣味系とスポーツ・健康合わせて15前後で推移。第12回より名称を「PTAクロスベンアカデミー講座」から「PTAカルチャー講座」に変更。



プリザーブドフラワーアレンジ

IFAフラワーコーディネーター協会

平澤いずみ先生

花や葉を特殊液の中に沈めて、水分を抜いて作ります。生花ですが長持ちするので最近人気が高いです。

参加者の声

ワイヤーを使って手先で細かい作業をしなければならないので、手先よりも目を使います。

紙飛行機を作って飛ばそう！

竹内 浩一先生

ケント紙と割り箸で作成する本格的な飛行機。ゴムカタパルトで飛ばすと体育館の天井まで届きます。

参加者の声

自分が一から作った飛行機を大空高く、できれば子供と一緒に飛ばしてみたいと思います。



暮らしに役立つ美文字

山岸美智子先生

名前や住所を中心に、きれいに書く裏技を教えてくださいました。男性が2名、初参加だったようです。

参加者の声

字は性格が出るので、少しでもきれいな字を書きたいと思い参加しました。パソコンが普及し、字を書く機会が減ったので、自分のくせを直したいです。

体験ミュージックセラピー

沢登 紀子先生

色々な楽器に触れながら、日頃使っている“言葉”は使わない、非言語コミュニケーションの音楽体験です。

参加者の声

周りの人、音を意識した音作りをしていました。自分の気配を伝える、呼吸を合わせることの難しさも体験できました。人の中で、自分のいる位置を確認したり、感じたりできます。



ジャズ入門

代田 孝先生

シャンソンの名曲“枯葉”を題材に、ジャズの即興演奏を学びます。ベース、ギター、トランペット、ピアノ、フルート、リコーダーを使って、閉会式で発表していただきました。

参加者の声

クラシックとは違う難しさがあります。楽しんで演奏できればと思います。



ワインを楽しもう

J.S.A日本ソムリエ協会認定ソムリエ

荒木 康雄先生

楽しみながら、白と赤の品種と味わいの違いを学びましょう。

参加者の声

昨年は役員でしたので、酔うことができませんでした。今年は自分に合うワインを探すために参加しました。

手作り味噌教室

飯島産のおいしい大豆を使って味噌を作ります。お持ち帰りもでき、試食会も行いました。

井口 初江先生



参加者の声

案外簡単にできました。「手前みそ」という言葉があるように、機械を使わずに自宅でも作ってみたいと思います。



生涯スポーツ 太極拳

日本武術太極拳連盟B級指導員

石田 素子先生

中国武術の中でも、筋肉や脳、精神面など広い分野で効果が期待される優れた健康法です。生涯続けられるスポーツで体も心もリラックスしましょう。

参加者の声

もっと簡単にできると思ったのですが、初歩の動きなのに奥が深く、身体への負荷が大きいです。

リラックス・基本ヨガ教室

国際ヨガ協会

井口千恵子先生

ヨガの正しい呼吸法と基本的なポーズをマスター。足裏健康法を取り入れて、日頃の疲れを解消しましょう。

参加者の声

ヨガの初歩に触れただけでしたが、奥深いものを感じました。今後も自宅で続けていきたいです。



バドミントンを楽しもう!

小松洋太郎先生

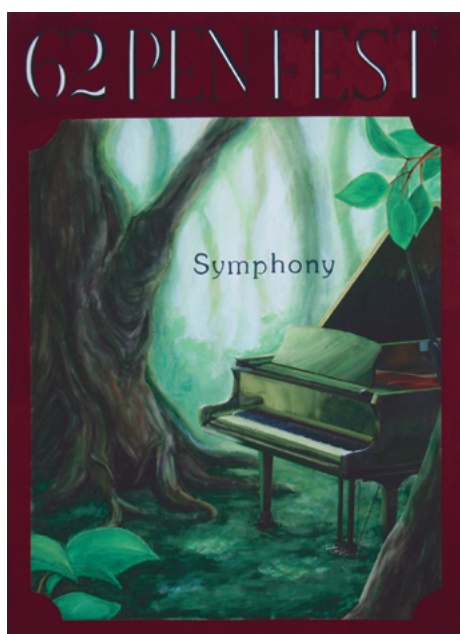
バドミントンの基本とゲームを楽しめます。初心者でも大丈夫!

参加者の声

昨年参加してみて楽しくて今年も参加しました。日頃の運動不足解消ができ、いい汗をかいています。

上記以外にも、菓匠Shimizuさんにて小松歩美先生による手作りケーキ教室、信州伊那国際GCにてコンペ形式でゴルフ教室も行われました。





KUNREI No.138

平成28(2016)年9月

編集後記

薫嶺一三八号を無事発行することができ、ほっと胸をなでおろしています。

不慣れなため、広報委員の方々、PTA担当の先生にかなり助けていただきました。心より感謝申し上げます。

さて、この情報誌が学校の様子を伝える役割を果たし、ご家庭でのコミュニケーションの一助となることを期待します。

また、これをきっかけにPTA活動を含めて、学校へと足を運ぶ機会が増えることを望みます。

広報委員長 吉岡 和久



編集担当

井地亜由美 (1B)	富永 光浩 (3B)
松本 圭子 (1B)	長橋 佳代 (3B)
今井 智子 (1E)	青木 まり (3E)
中平 弘恵 (1E)	佐藤 幸子 (3E)
坂元 和美 (2B)	世良 郁江 (2A・PTA副会長)
山口 寿彦 (2B)	(2A・PTA副会長)
前澤 徹 (2E)	西納 晶子 (3E)
横山さくら (2E)	加藤 正明 (担当職員)
	平澤 裕二 (教頭)